



小池博之 議員

「戦没者追悼式」の見直しを

遺族会の意向を尊重したい

質問・・・毎年9月に開催される「戦没者追悼式」は、式典の内容が形骸化しているという声が聞かれる。先の大戦から学んだ多くの教訓を風化させることなく次の世代に引き継ぐためにも、小中学生の参加や式次第の全面的な見直しなど、新しい時代にふさわしい式典にすべきではないか。

町長・・・追悼式の今後のあり方については、町遺族会の皆様の声を尊重し新しい方向性を出していきたい。

教育長・・・町内の小中学校では、授業の中で平和教育学習に力を入れている。研修では毎年5名の中学生を広島に派遣して体験学習を実施。その成果は、町の広報や校内文化祭において発表している。小中学生の追悼式典参加は、諏訪圏域では諏訪市と下諏訪町

で実施している。当町としては、学校運営との調整も必要となるため慎重に検討したい。

■学校のデジタル環境整備について

質問・・・町内小中学校における電子黒板、校内LAN、パソコンなどデジタルインフラの整備状況は。デジタル教科書の導入については、どう考えるか。教育現場の急速な情報化について、当町の現状は。

教育長・・・電子黒板は各校に1台ずつ配備し、校内LANも整備が完了した。デジタル教科書の導入は、時期尚早と考えている。町内の先生方で、ICT技術を駆使できるのはほぼ半数、これよりとは考えていない。校長会などに諮り、今後デジタル部会を立ち上げることも検討したい。

■マレットゴルフ場の整備について

質問・・・マレットゴルフ場の整備が近隣市町村に比べて遅れている。町民広場のコースの造成、御射山神戸の36ホールの整備・活用ができないか。

教育長・・・町民広場は用地面から造成は困難である。御射山神戸のコースも私有地などの問題から難しい。場内整備には年間10万円程度の支援を行っている。

□その他の質問
*行政が率先して「空き家」対策を



宮下伸悟 議員

子どもの医療費無料化

18歳まで拡充は実現可能

来年度からの実施に向け 前向きに検討

質問・・・現行15歳までとなっている子どもの医療費無料化を18歳まで拡充することは、予算的にも十分可能。すぐにでも実施するべきではないか。

町長・・・「すぐに」というわけにはいかないが、来年度から実施ができるか前向きに検討を始めた。

質問・・・18歳まで拡充した場合に必要な追加予算の試算と、システム改修コストの見積りは行っているか。

町長・・・追加予算の試算は400万円程度である。

住民福祉課長・・・確定では述べられないが、15歳まで拡充した際のシステム改修と同程度の費用であれば、10万円単位の額ではないか。

■町施策の対外PRについて

質問・・・新規就農や定住促進などの情報を町外へ効果的に発信するには、個別施策ごとのSEO対策(※1)が必要。また、フェイスブックを使ったパノラマのPRページが好評であり、都市部への訴求に有効とされるSNS(※2)を、町としても活用していくべき。

町長・・・SEO対策に詳しい者がパノラマにおいて、1日1000件ほどだったアクセス数を倍増させた実績がある。技術をパノラマから導入するなどしたい。

SNSは限られた人たちをグループで囲い込めることから、学校と保護者を連携させるクロウズドの「コミュニティ」をフェイスブック内につくり、大震災などが起きた際の安否確認に利用する案を計画している。

(※1)インターネットの検索エンジンで検索結果の上位に表示されるよう、ホームページに工夫を加える技術。

(※2)「ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス」の略。友人との交遊や仕事上での関係など、社会的な交流をインターネット上で促進・サポートするもので、日本で普及しているサービスにフェイスブックやマイクロシヤンなどがあ

□その他の質問
*水資源の保全について
*要援護者支援システムについて